

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
15	佐野 智昭（6）	<p>1. 自治会等からの選任者によって構成され、行政と協働・連携の下、活動している団体・組織の今後の在り方について</p> <p>本市では、交通安全、防災、防犯などの安全・安心分野、健康づくり、高齢者・子育て支援などの健康・福祉分野、環境衛生、環境美化、ごみ対策などの環境分野などにおいて、自治会等からの選任者によって構成された団体・組織（以下、「団体等」という。）が、行政との協働・連携の下、地区や自治会の中で各種事業等を展開しており、重要な役割を担っている。</p> <p>しかし、人口減少、少子高齢化をはじめとする社会経済情勢の変化、市民の生活や価値観の多様化などにより、地区や自治会、団体等において以下のような課題も見受けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区や自治会の活動等への無関心、連帯感や人間関係の希薄化が進んでいる。 ・小規模な自治会を中心に、人員の選任が困難となっている。 ・団体等の重要性や役割などが、市民に十分に理解、認識されていない。 ・団体等の事業等が慣例的になっており、時代に即していない。 ・まちづくり協議会における団体等の位置づけが明確でなく、横のつながりが脆弱であるなど。 <p>こうした課題をそのままに、今までどおりに進めようとするれば、近い将来には、様々なことが衰退し、立ち行かなくなる可能性もある。</p> <p>地区や自治会において、将来に向けて、良好なコミュニティを維持し、安心して住み続けられるまちを築いていくためには、団体等の今後の在り方が重要なポイントになるのではないかと考える。</p> <p>そこで、各団体等について、より効果的・効率的に役割を担っていただけるよう、組織自体の継続・統合・廃止、目的・役割や事業内容、人員選任の方法・人数などを再考し、改善していくことが必要ではないかと考え、以下を質問する。</p> <p>(1) 健康推進員については、令和3年度より富士市町内会連合会の御意見を伺いながら、制度の見直しを行っていくということだが、具体的なスケジュールや見直す事項などについて伺う。</p> <p>(2) 今後重視すべき防災、福祉分野に関連する各団体等については、以下の視点も含め、再考、改善を求めるがいかかか。</p> <p>① 水防団については、団員の高齢化や成り手不足、近年の頻発・激甚化している豪雨などを踏まえ、地域に求められる水防力、水防訓練の在り方なども含め検討が必要ではないか。</p> <p>② 地域防災指導員については、南海トラフ巨大地震や頻</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
15	佐野 智昭（6）	<p>発・激甚化している自然災害に備え、一層の地域防災力向上に寄与していただけるよう組織の拡充という観点も含め検討が必要ではないか。</p> <p>③ 民生委員児童委員については、高齢化の進行に伴い、さらに重要性が増していくことを踏まえつつ、一方で個人に過大な負担がかからないような体制づくりも視野に入れた検討が必要ではないか。</p> <p>(3) 今回取り上げた団体等も含め、全ての団体等について、それぞれ単独の視点ではなく、今後のまちづくり協議会や自治会での役割・あるべき姿、他団体等との役割分担や関連性など、幅広い視点からの再考、改善を求めるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長